政策評価部会分科会の進め方等について(案)

~ 平成24年度政策評価・施策評価~

1.政策評価部会各分科会の審議・判定の範囲について

- ・「宮城の将来ビジョン」、「宮城県震災復興計画」及び「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画」 の体系に基づき,21政策,57施策を,全て審議・判定する。
- ・判定の対象は、「政策・施策の成果」に係る県の自己評価(原案)の妥当性とする。
- ・「政策・施策を推進する上での課題と対応方針」については,県の自己評価(原案)に対して,適宜, 委員から意見をいただくこととする。

2 . 審議方法の変更点について

・審議に当たっては,新たに「対面審議項目の事前抽出」を行い審議の効率化を図るとともに,「書面審議 の補完的な導入」を図り評価の実効性を確保する。

「対面審議」とは,委員からの質疑に対する県担当者の回答を対面で行うことにより,審議する手法をいう。

「書面審議」とは、「対面審議」以外の審議手法をいう。

3.分科会の進め方

- ・審議・判定の体制は,委員会3人×3分科会構成を基本とする。
- ・開催回数は,各分科会4~5回とする。
- ・審議の効率化及び審議結果等の明確化を図るため、下記の点に留意する。

質疑事項の事前提出及び県回答の事前準備を可能な限り行う。

分科会の質疑応答前に論点整理を行う。

政策・施策評価に係る質疑応答時間は以下のとおりとする。

宮城県震災復興計画関連の政策・施策については対面審議項目の事前抽出を行わず,すべて対面審議とする。質疑応答は,1政策当たり8分を目安に,1施策当たり30分を目安に行う。

宮城の将来ビジョン関連の政策・施策については対面審議項目の事前抽出を行うこととし,質疑応答時間は抽出状況に応じて以下のとおりとする。

【政策評価】 [Case 1]委員一名以上が事前抽出した政策:1政策当たり8分を目安に行う。

(Case 2) 委員による事前抽出のない政策 : 対面審議を行わない。 ただし,政策を構成する施策が事前抽出された場合には,1政策当たり 8分を目安に対面審議を行う。

【施策評価】 〔Case 1〕委員二名以上が事前抽出した施策:1施策当たり20分を目安に行う。

[Case 2] 委員一名が事前抽出した施策 : 1施策当たり10分を目安に行う。

[Case 3] 委員による事前抽出のない施策 : 対面審議を行わない。

対面審議における説明及び質疑への回答は政策・施策評価担当課室が中心となって行うが,必要に応じて目標指標等及び事業担当課室も行う。

政策に係る対面審議においては,政策評価担当課室及び施策評価担当課室が臨席することを基本とする。

施策に係る対面審議においては、関係する政策評価、施策評価、目標指標等及び事業担当課室が 臨席することを基本とする。

質疑応答終了後に,県の自己評価(原案)に対する委員意見の集約を行い,判定及び判定理由等の決定を行う。

【参考】平成 23 年度政策評価部会 (H24.2.2) 資料 6

政策評価部会・分科会の体制等について(案)

|1| 政策評価部会・分科会の体制について

現在の政策評価部会・分科会体制の継続(9名による3分科会方式)

・現在は、「宮城の将来ビジョン」に掲げる3つの基本方向に対応して、3つの分 科会を設置し、政策及び施策の県の自己評価原案について調査審議を行っている。

評価対象となる「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画」の体系に基づき,「宮城の将来ビジョン」と「宮城県震災復興計画」のそれぞれの取組の関連づけに従い,現行の分科会(1~3分科会)に振り分け,現在の分科会の体制の中で,両計画に係る審議を併せて行う。

2 政策評価部会・分科会の審議の進め方について

部会・分科会での審議の効率化等に向けた対応

開催回数等

・諮問に応じて開催する政策評価部会・分科会は、時間的な制約等から、概ね例年どおりの開催時間・頻度とする。(分科会毎に、2~3時間の審議を3回程度)

対面審議項目の事前抽出方式の導入(新)

・当面,「宮城県震災復興計画」に沿った政策に重点的に取り組むこととなることから,「宮城県震災復興計画」に係る評価結果を優先した審議とし,対面で行う審議項目について,事前に絞り込みを行う。

要質疑事項整理票の活用

・これまでと同様,分科会がスムーズに進行するよう,分科会開催前に各委員から「要質疑事項」を提出していただき,効率的な審議を進めるスタイルを継続して採用する。

書面審議の補完的導入(新)

・時間的な制約上,対面審議項目に対する審議が実施できない等の場合には,期限を定めて,委員からの質疑に対する回答を補完的に文書で行うことも可能とする。

なお,対面審議項目以外のもので,説明を要するものについても同様とする。